



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL)06-7711-2571  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	40,702	5.8	2,221	△3.2	2,577	△2.1	1,692	△12.0
30年3月期第2四半期	38,454	5.4	2,295	18.2	2,634	22.7	1,924	38.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 2,097百万円(△18.6%) 30年3月期第2四半期 2,576百万円(74.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	30.66	—
30年3月期第2四半期	34.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	85,883	56,620	64.8
30年3月期	84,330	55,024	64.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 55,687百万円 30年3月期 54,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		9.00	16.00
31年3月期		8.00			
31年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	6.3	5,000	3.7	5,500	2.1	3,500	8.0	62.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	55,577,526株	30年3月期	55,577,526株
31年3月期2Q	372,674株	30年3月期	372,579株
31年3月期2Q	55,204,900株	30年3月期2Q	55,205,278株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調がみられたものの、相次ぐ自然災害の影響による企業活動の停滞や米中貿易摩擦等による世界経済の下振れリスク、原油をはじめとする原料価格の上昇などにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、販売体制の強化や生産体制の効率化など、収益確保に向けてグループ一体となった積極的な事業活動に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は407億2百万円（前年同期比5.8%増加）、営業利益は22億21百万円（前年同期比3.2%減少）、経常利益は25億77百万円（前年同期比2.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億92百万円（前年同期比12.0%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しています。以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### ① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、自動車、化学、半導体など仕向け先全般において堅調に推移いたしました。このような事業環境のなか、シリンダーガスビジネスの収益力強化のため積極的な投資を行ない、生産体制の合理化や物流面における効率化など地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、真空浸炭炉向けが新規獲得や需要の増加があったものの、建設、土木など現場工事向け及び造船向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、炭酸ガスがそれぞれ半導体、溶接、食品向けに新規需要先の獲得及び既存需要先の回復により増加しました。LPガス等の石油系ガスは輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、需要先の獲得により販売数量が増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の機運の高まりを受け、溶接ロボット、工作機械等の需要先の獲得や設備工事の受注があり、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、半導体向け特殊容器などが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は305億36百万円（前年同期比5.4%増加）となりました。営業利益は20億90百万円（前年同期比2.5%減少）となりました。

#### ② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、ナフサ価格の上昇による原料価格の高騰、運送費の上昇など厳しい状況が続きました。このような事業環境のなか、新しい技術開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品開発に努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが粘着用が需要の低迷により大幅に減少したものの、紙用、塗料用に需要を伸ばし、シアノンが海外向けにコンシューマー用の需要が伸長し、ペガロックが国内、海外とも新規需要先の獲得により増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が新製品の上市により増加したものの、西日本豪雨、台風などの自然災害により戸建の塗装工事が減少し、エアゾール製品が増加したものの、売上高は、前年同期を下回りました。

このほか、『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は86億66百万円（前年同期比0.2%増加）となりました。営業利益は6億23百万円（前年同期比13.1%減少）となりました。

#### ③ その他事業

LSIカードは、国内、海外とも需要が回復し、また、食品添加物が新規需要先の獲得により増加し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は14億99百万円（前年同期比79.3%増加）、営業利益は13百万円（前年同期は、22百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間から、繰延税金資産及び繰延税金負債について表示方法の変更を行っており、当該変更の内容を反映させた組み替え後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行なっています。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億53百万円増加して858億83百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加により前連結会計年度末に比べ6億49百万円増加して、484億24百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加と投資有価証券の時価が上昇したことにより前連結会計年度末に比べて9億3百万円増加し、374億59百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少して292億62百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が増加したものの賞与引当金、1年以内返済予定借入金の減少により前連結会計年度末に比べ11億50百万円減少し、236億6百万円となりました。固定負債は、長期借入金や繰延税金負債の増加により前連結会計年度末に比べ11億7百万円増加し、56億56百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ15億95百万円増加して566億20百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成30年5月11日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,218	19,884
受取手形及び売掛金	21,455	21,060
電子記録債権	2,528	2,680
商品及び製品	2,571	2,633
仕掛品	438	495
原材料及び貯蔵品	1,258	1,320
その他	380	426
貸倒引当金	△76	△76
流動資産合計	47,774	48,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,540	6,536
機械装置及び運搬具（純額）	2,815	2,857
土地	13,277	13,279
建設仮勘定	563	782
その他（純額）	927	920
有形固定資産合計	24,124	24,376
無形固定資産	320	312
投資その他の資産		
投資有価証券	11,384	12,052
繰延税金資産	137	132
退職給付に係る資産	11	12
その他	643	637
貸倒引当金	△66	△65
投資その他の資産合計	12,110	12,769
固定資産合計	36,556	37,459
資産合計	84,330	85,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,813	11,732
電子記録債務	5,903	6,071
短期借入金	1,466	1,446
1年内返済予定の長期借入金	1,012	4
未払法人税等	683	786
賞与引当金	1,285	1,171
その他	2,591	2,392
流動負債合計	24,756	23,606
固定負債		
長期借入金	2,000	3,000
退職給付に係る負債	452	429
役員退職慰労引当金	39	40
繰延税金負債	1,303	1,424
その他	752	762
固定負債合計	4,548	5,656
負債合計	29,305	29,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,760	2,760
利益剰余金	44,661	45,857
自己株式	△199	△199
株主資本合計	50,107	51,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,289	4,691
為替換算調整勘定	47	3
退職給付に係る調整累計額	△340	△311
その他の包括利益累計額合計	3,997	4,383
非支配株主持分	919	933
純資産合計	55,024	56,620
負債純資産合計	84,330	85,883

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	38,454	40,702
売上原価	27,497	29,813
売上総利益	10,957	10,888
販売費及び一般管理費	8,662	8,667
営業利益	2,295	2,221
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	115	131
受取手数料	61	55
為替差益	22	55
その他	228	198
営業外収益合計	430	442
営業外費用		
支払利息	17	17
その他	73	68
営業外費用合計	90	86
経常利益	2,634	2,577
特別利益		
固定資産売却益	167	5
その他	0	0
特別利益合計	167	5
特別損失		
固定資産売却損	—	14
ゴルフ会員権評価損	8	—
減損損失	—	1
特別損失合計	8	16
税金等調整前四半期純利益	2,793	2,567
法人税、住民税及び事業税	532	931
法人税等調整額	327	△70
法人税等合計	859	860
四半期純利益	1,933	1,707
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,924	1,692

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,933	1,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	642	404
為替換算調整勘定	△33	△44
退職給付に係る調整額	33	29
その他の包括利益合計	642	389
四半期包括利益	2,576	2,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,557	2,079
非支配株主に係る四半期包括利益	19	18

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,793	2,567
減価償却費	881	878
減損損失	—	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△113
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	27	19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26	1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△82	△91
受取利息及び受取配当金	△117	△133
支払利息	17	17
固定資産売却損益(△は益)	△167	△5
為替差損益(△は益)	△3	△32
売上債権の増減額(△は増加)	158	242
たな卸資産の増減額(△は増加)	△217	△183
仕入債務の増減額(△は減少)	657	88
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44	26
その他	90	△149
小計	3,968	3,133
利息及び配当金の受取額	117	133
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額	△913	△838
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,154	2,411
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△21	△467
定期預金の払戻による収入	21	21
有形固定資産の取得による支出	△1,471	△1,137
有形固定資産の売却による収入	383	21
投資有価証券の取得による支出	△54	△81
その他の支出	△14	△26
その他の収入	89	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,068	△1,666
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	110	△20
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△22	△1,008
配当金の支払額	△386	△496
その他の支出	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301	△529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,781	215
現金及び現金同等物の期首残高	16,181	19,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,962	19,391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,969	8,649	836	38,454	—	38,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,969	8,649	836	38,454	—	38,454
セグメント利益又は 損失(△)	2,145	718	△22	2,841	△546	2,295

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△546百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,536	8,666	1,499	40,702	—	40,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	30,536	8,666	1,499	40,702	—	40,702
セグメント利益又は 損失(△)	2,090	623	13	2,727	△506	2,221

(注) 1 セグメント利益の調整額△506百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を一部見直し、従来の「化成品事業」に含まれる一部商品の報告セグメントを「その他事業」に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。